



梨花

題字/西尾邑次
名誉会員揮毫

第 8 号

2000年11月30日発行

東京鳥取県人会事務局

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館10F

電話 03(5212)9178

発行責任者/天野 勇

編集/幹事会編集委員

http://www.tokyooffice.pref.tottori.jp/

《御 礼》 地震お見舞い

鳥取県は大地震にめげず 元気です!!

去る10月6日に鳥取県米子市の南約20キロを震源とし、マグニチュード7・3の地震が発生し、鳥取県西



震災後の10月10日、鳥取県日野町にて (毎日新聞提供)

部では負傷者97人、全半壊の住居が2千4百戸余と多大な被害を生じた。この、ふるさとの大地震でさぞ御心配されたことと思いますが、多くの負傷者を生じながらも死者が1人も出なかったということは誠に不幸中の幸いでした。この地震に対し、皆様から温かいご激励、並びにご支援をいただき、心

から感謝申し上げます。ご安心ください。鳥取県は、日々復興を遂げています。交通機関はいち早く復旧しましたし、旅館やホテルも通常どおり営業しています。これからシーズンを迎える冬の味覚・松葉がにも例年どおり、本場・鳥取県で味わっていただけます。鳥取県民は「元気いっぱい!鳥取県」をモットーに頑張っています。

鳥取県東鳥取県人会会長 天野 勇
鳥取県東京事務所長 前田 親保



東京から消えた「ふるさとの顔」

東京鳥取県人会常任幹事 中野 純

この春、ヨーロッパへ旅したことを覚えている。果たする兄から電話があった。して東京で入手できるだろう。「イタリアに住む友人が粹な奴でな、灘の生一本と一緒で、うるか」を持参されたしと。東京で、谷・東急プラザ(地下)は昨年暮れ、閉店に追い込まれたという。手に入るだろうか。という。後日新宿を訪れてみて、はたど考えさせられた。高島屋の進出で新しい盛り場となった新宿駅南口サザンテラスに、その店「新宿みやま」はあった。すぐ近く「千代川で捕れたアユからつくったものを味わったりしが、」新宿にある宮崎県

の「ふるさとの顔」(潤香)は、後日新宿を訪れてみて、はたど考えさせられた。高島屋の進出で新しい盛り場となった新宿駅南口サザンテラスに、その店「新宿みやま」はあった。すぐ近く「千代川で捕れたアユからつくったものを味わったりしが、」新宿にある宮崎県



旧「梨花」 創刊の頃

吉田 武

旧「梨花」のことに、書いて欲しい旨編集委員から依頼を受けたので、思い出を振り返って、昭和38年、私は大学を卒業すると日本海新聞の東京支社に勤務することになった。当時の支社長四日市市長太郎さんの下で営業活動をするかたわら、様々な機会に連れてゆかれたのだが、その一つが東京鳥取県人会であった。即座に私は会員にさせられた。新聞社勤務というだけ「梨花」編集のお手伝いをやらされる羽目になった。「梨花」は当時の会長沢田三三さん(岩美町出身、元国連大使)の発案であっ

盛會裡に終わった 12年 「総会と懇親の夕べ」

平成12年



平成12年の「総会と懇親の夕べ」(写真上)は、9月12日、赤坂プリンスホテルにおいて開催されました。当日は、片山鳥取県知事をはじめ、県選出国会議員、鳥取県内の市町村長28名を含め総勢229名のご参加をいただきました。総会では、前年事業・決算報告及び平成12年事業計画・予算が承認されました。総会に引き続き、「懇親の夕べ」へと移り、来賓を代表して、片山鳥取県知事に祝辞をいただいた後、



天野会長の音頭による乾杯により開宴しました。今年は、アトラクションに内海桂子さん(写真左)をお呼びし楽しい漫談で盛り上がりました。また、70名を超える皆様からのご協力いただきました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。(事務局/橋本)

きが行われ、当選者が決まるたびに歓声が起り、賑やかな雰囲気になりました。最後に「ふるさと」を参加者全員で合唱し、盛會のうちに開きとなりました。会員の皆様には、名刺広告、景品提供等たいへんご協力いただきました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。(事務局/橋本)

この町 あの街

(5)

《河原町》

あじわいのある町

河原町は、鳥取市の南に位置し、山と川に支えられ歴史と伝統文化を背景とした風光明媚な町です。(河原町) 河原町でまず目を引くのが国道53号線沿いの河原城です。かつて秀吉が陣を築いたというお城山の頂上にそびえる三層四階建ての展望台からは、町内はもとよ

り遠くは日本海まで望め、その360度の雄大なパノラマは、必見です。城内は、町の情報・歴史・文化を資料展示しております。(スカイスポーツのメッカ 霊石山) 町の東部にある数々の伝説と神話に富む霊石山(34m)は、空中散歩を楽しむ若者たちにぎわうス



カイススポーツのメッカです。日本海から吹き上げる風が上昇気流となってスカイスポーツ(写真)に最適。高さ、眺望、気流と三拍子そろった西日本有数の好エリアとして知られております。また、町主催でハング・パラグライダーの女性の全国大会を毎年開催しております。

御礼 地震お見舞い
●慶応元年創業
●全国新酒造評会金賞
千代むすび酒造
〒684-0004
鳥取県米子市大町1-3-1
TEL 0859-421319
FAX 0859-421315

御礼 地震お見舞い
●発売中
さんいん自然歳時記
本体価格3,619円
●発売中
悠遊大山
本体価格2,000円
今井書店グループ東京事務所
TEL 03-5803-3030 FAX 03-5803-3031

御礼 地震お見舞い
鳥取銀行 TOTTORI BANK
東京事務所
所長 桑崎 俊文
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3丁目3番
9号(共同ビル新千代田3F)
TEL (03)5295-8111 FAX (03)5295-8117

御礼 地震お見舞い
●冬の味覚「松葉が料理」始めました。
米子市・皆生温泉
皆生シーサイドホテル
〒683-0001 米子市皆生温泉3-4-3
TEL 0859-34-2222
www.sanin.com/seaside/

御礼 地震お見舞い
人・技術・自然・社会のハーモニー
株式会社 テトラ
〒160-8350 東京都新宿区西新宿6-3-1
tel. 03(3342)0151 fax. 03(3342)0248

県内イベント紹介

天平のロマンが集うミュージアム

因幡万葉歴史館

国府町は、奈良・平安・鎌倉時代に因幡の国の国庁



回遊式庭園「万葉と神話の庭」

が置かれた地で、貴重な古代遺跡が集中し、古の調べが漂い流れるような歴史の町です。また、天平時代に万葉歌人大伴家持が、万葉集の最後を飾る「新しき年の始めの 初春の 今日降る雪の いや重げ吉事」という有名な歌を詠んだことになみ「万葉のふるさと」として知られています。

この歴史館は、「天平のロマン」が集うミュージアムをメインテーマに、大伴家持の生涯にスポットをあてた「歴史本館」、因幡地方の民俗行事、伝統芸能の世界を展示した「民族イビジョンシアターで上映する「映像館」、多目的オープンスペース「伝承館」、高さ30mの「時の塔」、万葉集に詠まれている植物が楽しめる回遊式庭園「万葉と神話の庭」で構成されており、最新のニューメディアを駆使した

展示など様々な工夫により、独自の夢とロマンが広がるミュージアムとなっています。

県人のお店

いってみんないな!

カクテル & ロシア料理

レストラン・バー



銀座8丁目のビル群の一角、エレベーターを7階まで昇ったところにそのお店はある。



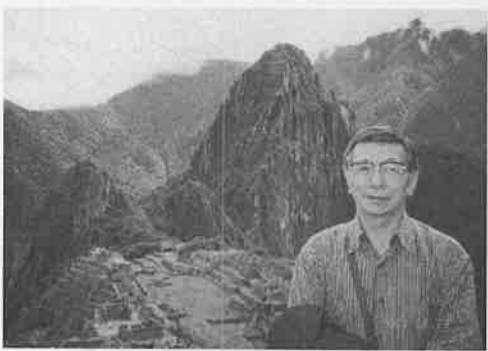
自慢料理は、ロシアの家庭料理ピロシキとボルシチ(いずれも800円)。鳥取が亡き父の郷なら、もう一つ望郷の念に駆られるのが生まれ育った母の郷、牡丹江と哈爾濱だという。カクテルのことを「混血の美酒」というが、鶴賀さんのカクテル名人はまさに「気が付けば選歴を越す歳になってしまいました。時もお名前頂戴いたしまし」と、誠に礼儀正しい。さすがが格式高い日本バーテンダー協会の重鎮を務めてこられた方々の手は、

「自慢料理は、ロシアの家庭料理ピロシキとボルシチ(いずれも800円)。鳥取が亡き父の郷なら、もう一つ望郷の念に駆られるのが生まれ育った母の郷、牡丹江と哈爾濱だという。カクテルのことを「混血の美酒」というが、鶴賀さんのカクテル名人はまさに「気が付けば選歴を越す歳になってしまいました。時もお名前頂戴いたしまし」と、誠に礼儀正しい。さすがが格式高い日本バーテンダー協会の重鎮を務めてこられた方々の手は、

《寄稿》

初めての南米旅行

近藤会計事務所長 税理士 近藤 裕



写真はペルーのマチュピチュの遺跡と筆者 (平成12年6月11日)

(前回の続き) しい街でした。プエノスの街は南ペルーのマチュピチュは米のバリと言われ、インカ帝国の遺跡ですが、その建設の理由は未だに謎ヨーロッパ風的美です。

首都リマからクスコまで3300米の高さを一気に飛び上るので、大抵軽い高山病になります。更にクスコから登山列車で約3時間半、スイッチバックで標高3800米の峠を越え、最後はバスで30分、九十九折りの山道を登った所にこの遺跡があります。堅牢な石組造りの人口数百人(推定)の街のあとですが、神殿があり、水汲み場があり、周囲の山々は急坂の段々畑になっていて、自給自足がはかられていたものと思われま。最後は有名なナスカの地蔵絵です。リマの南方約4500年の砂漠の中にこの不思議な上絵があります。5人〜9人乗りのセスナ

叙 勲

元自治大臣坂野重信さんが勲一等旭日大綬章に輝く!



大山は高山植物や昆虫、鳥類の大宝庫だよ。 絵・三輪正巳

菊薫る11月上旬、恒例の秋の叙勲伝達式が宮中で行われ、わが鳥取県から、元自治大臣の参議院議員坂野重信さん(北条町出身、83才)が勲一等旭日大綬章の栄に浴された。

記者が、約束の日時に議員会館にお訪ねすると、生憎の雨にもかかわらず、坂野さんは女性秘書の手を借

りて車椅子で来館された。「私、昨年心臓病に倒れ、やっと政務に復帰することができ、議員生活25周年を盛大に祝っていたら、勲一等を授かった17名の代表で坂野さんが陛下にお礼の言上をなされたという。」「真に光栄の極みです」折しも、外は冷たい秋雨が降り濡れ、水田町は風雲急を帯びる真只中であつた。「私は自民党分裂の危機を何度も救ってきたものですが……」



混沌とした政局に思いを馳せる坂野さんであつた。(文・写真/遠藤)

関東地方にお住まいの日ノ門バスターには出席者総勢80名が集い、懐かしい顔に声量も上がり、時のたつのも忘れて懇親を深めあつた。このとき金融再生委員長相沢国務大臣が公務多忙の寸暇を裂き、見えて挨拶を終られるや帰って行かれ、大拍手で感謝しました。また鳥取県事務所からも3名のご出席を頂き有難うございました。

近年、ふる里との距離が縮み、往き来が容易で頻繁となり、ふる里への懐かしさが薄れて来たことが、ふる里を懐かしむ会の運営を難しくしている感があります。今回、今回の盛り上がり

は、このような疑念を飛ばしました。毎回の事ながら、秋田俊作副会長・河本明生幹事の準備のご苦勞に深謝します。(文責 田中 祐輔)

在京OB会だより

ふる里を誇りに思う仲間80名が集い、懇親・歓談!

関東地方にお住まいの日ノ門バスターには出席者総勢80名が集い、懐かしい顔に声量も上がり、時のたつのも忘れて懇親を深めあつた。このとき金融再生委員長相沢国務大臣が公務多忙の寸暇を裂き、見えて挨拶を終られるや帰って行かれ、大拍手で感謝しました。また鳥取県事務所からも3名のご出席を頂き有難うございました。

東京東伯会 第49回総会開催

11月7日18時、四谷スクワール麹町にて総会を開催。参加者50名。

最初は極めて静かにスタートしましたが、徐々に声も笑いも大きくなり、結構な盛り上がりとなりました。

ゴルフ会は「因幡オープン」と改称!

平成12年第2回県人会懇親ゴルフコンペが9月7日雨の中、「習志野カントリー・クイーンコース」にて過去最高の25名が参加して開催されました。今回の初参加者は、竹蔵一夫さん、田中祐輔さん、上山哲郎さん、鳥羽弘高さん、中井達也さんの5名でした。結果は優勝が初参加の鳥羽弘高さん、準優勝は小川浩史さんでした。なお、県人会ゴルフコンペの名称がこれまでの「千鶴会」から「因幡オープン」に改められました。

名称を改めた「第1回因幡オープン」は11月16日、「習志野カントリー・キングコース」で23名の参加を得て開催されました。(写真)

「真に光栄の極みです」折しも、外は冷たい秋雨が降り濡れ、水田町は風雲急を帯びる真只中であつた。「私は自民党分裂の危機を何度も救ってきたものですが……」

近年、ふる里との距離が縮み、往き来が容易で頻繁となり、ふる里への懐かしさが薄れて来たことが、ふる里を懐かしむ会の運営を難しくしている感があります。今回、今回の盛り上がり

は、このような疑念を飛ばしました。毎回の事ながら、秋田俊作副会長・河本明生幹事の準備のご苦勞に深謝します。(文責 田中 祐輔)